

宮城県感染症発生動向調査情報(第8週)

宮城県【平成25年02月28日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

- 2013.2.18 ~ 2.24 ・ 第8週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所							宮城県(含む仙台市)							
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	仙台市 患者数	患者数 累計	第5週	第6週	第7週	第8週		
水痘	9 1.80	19 1.90	10 2.00	3 1.50	2 0.67	10 2.00	1 1.00	28 1.08	652 1.43	◎→	◎→	◎→	◎		
流行性耳下腺炎	2 0.40	5 0.50	1 0.20		1 0.33	7 1.40	3 1.50	7 0.27	221 0.45	○→	レ→	→	○		
百日咳		1 0.10						4 0.15	5 0.09	→	→	→			
感染性胃腸炎	35 7.00	47 4.70	16 3.20	23 11.50	30 10.00	85 17.00	18 9.00	144 5.54	398 6.86	◎→	◎→	◎→	◎		
手足口病	1 0.20		3 0.60			1 0.20		2 0.08	7 0.12	→	→	→			
伝染性紅斑	2 0.40	2 0.20	1 0.20					5 0.09	61	→	→	→			
突発性発しん	1 0.20	3 0.30	2 0.40	2 1.00	3 1.00	7 1.40	2 1.00	15 0.58	35 0.60	○→	○→	レ→	○		
ヘルパンギーナ			1 0.20		1 0.33			1 0.04	3 0.05	→	→	→			
インフルエンザ	100 12.50	114 7.60	113 14.13	33 11.00	88 17.60	71 8.88	64 16.00	425 10.12	1008 10.84	◎→	◎→	◎→	◎		
咽頭結膜熱		1 0.10		1 0.50				14 0.54	16 0.28	→	→	→			
流行性角結膜炎		1 0.33						1 0.08	13	→	→	→			
急性出血性結膜炎										→	→	→			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	23 4.60	23 2.30	5 1.00	5 2.50	3 1.00	41 8.20		30 1.15	130 2.24	◎→	◎→	◎→	◎		
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)								1 0.20	1 0.08	→	→	→			
無菌性髄膜炎										→	→	→			
マイコプラズマ肺炎		1 1.00	5 5.00			1 1.00	8 8.00	2 0.40	17 1.42	○→	レ→	○→	レ		
クラミジア肺炎(オウム病は除く)										→	→	→			
RSウイルス感染症		2 0.20	1 0.20					6 0.23	9 0.16	レ→	→	→			
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1		5			2	6	3	：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ：発生または流行について、今後の情報に留意 し、発生が少なくなっている傾向 【週報の詳細】宮城県保健環境センターのホームペ ジをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/					
	川崎病														
	不明発疹症														

今週の全数報告疾病

*男児、女児は6歳未満

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
 - 塩釜管内 女性1名
 - 大崎管内 女性1名
 - 栗原管内 男性1名
 - 登米管内 女性1名
 - 仙台管内 男性2名
- 3類感染症: 報告なし
- 4類感染症: A型肝炎
 - 仙南管内 女性1名
- 5類感染症: 梅毒
 - 仙台管内 女性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告
14例(仙台市を含む基幹定点報告)

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

【インフルエンザ】

仙南、大崎管内で警報継続中。
栗原、登米、気仙沼、仙台管内で注意報継続中。
患者数は県全体では減少傾向にあるが、全国的にはまだ流行が続いている。
また仙台ウイルスセンターでインフルエンザA型(H1N1)pdmの検出がみられ、他にB型も検出されていることから、引き続き十分注意が必要である。
インフルエンザに関する解説や予防法については、厚生労働省の下記「インフルエンザ一問一答」などを参考に
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkakukansenshou01/dl/leaflet20110208_01.pdf

【感染性胃腸炎】

石巻管内で警報継続中。
患者数は横ばい状態であるが、施設におけるノロウイルスが原因の集団発生も報告されているので今しばらく注意が必要である。

インフルエンザ、ノロウイルスが原因の感染性胃腸炎はいずれもウイルス感染症で、予防策として手洗いうがいの励行が必要である。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

インフルエンザ患者より
インフルエンザ患者より
登米管内 第7週採取分 インフルエンザウイルスA(H3)遺伝子 4件
第8週採取分 インフルエンザウイルスA(H3)遺伝子 2件
気仙沼管内 第8週採取分 インフルエンザウイルスA(H3)遺伝子 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第6週採取分 (2.4～2.10)	第7週採取分 (2.11～2.17)	第8週採取分 (2.18～2.24)
インフルエンザウイルスA(H1N1)pdm	1件	0件	0件
インフルエンザウイルスA(H3)	8件	2件	0件
インフルエンザウイルス解析中	0件	1件	3件
RSウイルス	6件	2件	2件
アデノウイルス	1件	0件	0件

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	総数 (人)
2012年 第52週	25.0	23.5	9.1	9.1	9.1	12.9	4.5	3.0	3.0	0.0	0.8	132
2013年 第1週	26.2	19.2	11.0	6.4	10.5	6.4	5.8	9.9	1.2	0.6	2.9	172
第2週	23.3	21.0	8.6	5.4	9.5	9.5	8.9	5.9	4.1	1.9	1.7	828
第3週	21.9	24.0	14.1	6.8	9.5	8.5	6.0	4.4	2.7	1.2	0.9	1,749
第4週	21.3	28.5	16.7	5.6	5.2	7.7	6.9	4.1	2.4	1.1	0.6	2,850
第5週	20.3	29.9	16.4	4.8	5.6	8.0	5.9	3.9	2.8	1.3	1.2	2,603
第6週	19.0	29.5	19.6	4.3	4.5	6.8	6.3	4.3	3.3	1.2	1.1	2,036
第7週	21.9	26.4	15.3	4.2	5.2	7.2	7.2	5.0	3.2	2.2	2.3	1,146
第8週	21.2	27.7	17.6	3.7	5.2	6.8	5.4	4.9	3.6	2.6	1.5	1,008

定点把握の対象となる5類感染症(全国 2013年第6週)

(国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では愛知県(42.47)、鹿児島県(40.69)、新潟県(39.62)、愛媛県(36.52)、広島県(34.48)が多い。RSウイルス感染症: 報告数は1,423例と2週連続で減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約72%を占めている。咽頭結膜熱: 報告数は増加した。宮崎県(1.22)、山形県(0.67)、熊本県(0.66)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 報告数は増加した。石川県(6.28)、鳥取県(4.42)、富山県(4.41)が多い。感染性胃腸炎: 報告数は横ばいであった。宮崎県(17.53)、熊本県(16.72)、鹿児島県(13.24)が多い。水痘: 報告数は増加した。沖縄県(3.24)、鹿児島県(3.13)、宮崎県(2.86)が多い。手足口病: 報告数は減少した。福岡県(1.10)、大分県(0.67)、鳥根県(0.61)が多い。伝染性紅斑: 報告数は2週連続で減少した。岩手県(0.33)、香川県(0.23)、新潟県(0.13)が多い。百日咳: 報告数は増加した。沖縄県(0.09)、秋田県(0.06)、滋賀県(0.06)、広島県(0.06)が多い。ヘルパンギーナ: 報告数は増加した。長崎県(0.55)、福井県(0.09)、富山県(0.07)が多い。流行性耳下腺炎: 報告数は減少した。福井県(1.14)、山形県(0.90)、福岡県(0.66)が多い。マイコプラズマ肺炎: 報告数は減少した。宮城県(1.83)、岡山県(1.40)、高知県(1.25)が多い。